

大学のあるべき姿を考える — より良い大学を実現するための 学教法再改正提案



大学とは、どのような場所なのでしょう。

知的好奇心を満たすところ、
新しいスキルを身につけるところ、
自分を見つめ直すところ、
学問的探究を行うところ、
人によって大学に求めることは異なるでしょう。

では、社会にとって大学とはどのような場所であり、
より良い大学とはどのようなものなのでしょう。

わたしたち、大学の教職員組合3団体は、
社会にとって「より良い大学」とはどのようなものなのかを
真剣に考えています。
そしてそれを学校教育法に反映させたいと願っています。
このシンポジウムでわたしたちの考えを提案させていただき、
ぜひともみなさまのご意見をお聞かせください。
ご参加をお待ちしています。

2024年

3/30 (土)

13:30～17:20

(開場 13:00)

■ 明治大学リバティタワー

1011教室

(アクセス <https://academy.meiji.jp/guide/access.html>)

【最寄り駅：御茶ノ水】東京都千代田区神田駿河台1-1



■ ハイブリッド開催

(現地参加およびオンライン参加)

スケジュール

- 13:30～ 開会
- 13:40～ 基調報告
- 14:00～ 講演
「2014年学教法改正の背景と影響」
講師：丹羽徹（龍谷大学法学部教授）
- 15:00～ 3団体からの報告
- 16:15～ ディスカッション
- 17:10～ 閉会

参加費 無料

学校教育法改正を求める
国公立大学教職員組合協議会

- ・全国公立大学教職員組合連合会
- ・全国大学高専教職員組合
- ・日本私立大学教職員組合連合

参加お申し込みはこちら

(3月27日 火曜まで)

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZwodemsqzotHdKkcYNI3u1ndSU9kEcMc8Vv>

